

市仏連会報

発行所
 横浜市中区大平町96
 光明山西有寺内
 横浜市仏教連合会
 電話(045)661-0166

就任のご挨拶

横浜市仏教連合会
 会長 玄野孝善



この度、選考委員会のご推薦により、市仏連会長に就任いたしました。一言ご挨拶申し上げます。私が市仏連に足を入れたのは、昭和五十二年一月二十四日のこと

です。当時の会長さんは金沢区のお金龍院に住職志村慎吾老師で、私は右も左も解らないのに西有寺に住職横山敏明老師から専務理事の事務を引き渡され大変苦労をいたしました。それ以来三十二年間七代の会長さんのカバン持ちをしてまいりましたが、まだまだ浅学非才な和尚ですので、みなさまのご指導ご鞭撻のほど宣してお願い申し上げます。

さて、これからの日本はどうあるべきかと、去る八月に衆議院選挙が実施され、長い間続いた自民党から民主党へと政権が変更されました。

そこで、これからの宗教法人はどうなるのかと思うと、一抹の不

安が感ぜられます。私たち僧侶は一丸となって、これからの時代を乗り切っていかなければならないと思います。社会も時代と共に変化し、核家族、少子高齢化にともない先祖代々の墓を継承することも次第にむずかしくなっており、市内の寺院でも無縁墓地が増えてまいりました。

また、若い世代の人は信仰心が薄くなっているように思えます。葬儀も密葬とか家族葬といつて簡素化されて来てる様に感ぜられます。

私は、市仏連に三十二年間お世話になってまいりましたが、その仏教会のメンバーもすっかり変わってしまえば一番の古狸となつてしまいました。これからの仏教会のあり方はどうあるべきか、真剣に考えてゆかなければなりません。

薄れ行く信仰心を高め、僧俗が一体となつて時代に応じた活動をしてゆかなければなりません。

最近の世相は、自己中心のもの考え方をもつ人多く見受けられます。人と人の交流は薄くなり、相談相手も見つからず、孤独に落ち入り、悩み、ストレスがたまり犯罪へと走ってしまう人もあれば自殺をしようとする人も数多く報道されています。こういった世相の

人々を救う僧侶はどういった手段で救う事ができるかという事も大切な問題です。人間は、どんなに立派でも一人の力では微々たるものです。仏教会各宗派の僧侶が、一丸となって協力し難題を解決して行く以外はありません。

ちょうど、今年度は、市仏連再発足六十周年を迎えます。

また併せて釈尊奉讃会創立三十七周年行事もごさいいます。僧俗が、一体となつて力を合せる絶好の機会です。この混沌の世相を少しでも明るく住みよい社会の形成には仏教の教えが何より大切だと思えます。最後になりましたが、明年六月に周年行事を予定しております。只今役員一同その準備にとりかかっています。無事円成できましますよう、会員諸師のご尽力ご協力を宜しく申し上げます。

では、各位のご健勝をご祈念し、就任の挨拶とさせていただきます。

- ### 新会長プロフィール
- ◎ 誕辰 昭和13年11月3日生
 - ◎ 得度 昭和30年12月10日
 - ◎ 学歴 駒沢大学仏教学部卒
 - ◎ 安住 居修禅寺・大本山総持寺
 - ◎ 副住 昭和44年7月10日就任
 - ◎ 住職 昭和58年5月9日就任
 - ◎ 布教師 昭和63年4月1日より
 - ◎ 教区長 平成10年10月26日
 - ◎ 関東管区教化センター副会長
 - ◎ 保護司 平成7年12月5日より
 - ◎ 自治会 昭和44年4月18日より
 - ◎ 市仏専務 昭和52年1月24日
 - ◎ 区仏会長 平成6年5月
- ◎ 表 彰 曹洞宗管長宛下・市長 梶野 泉 知事・保護司会関係

市仏連役員名簿

名譽会長	大 道 晃 仙
顧問	滝 川 覚 道
顧問	横 山 敏 明
顧問	齋 藤 隆 信
顧問	都 築 哲 法
顧問	川 上 敬 吾
顧問	福 永 隆 昭
顧問	玄 野 孝 善
副会長	山 本 信 行
副会長	市 川 智 彬
専務理事	林 田 眞 成
會計	橋 下 賢 明
會計	秋 山 智 謙
會計	備 前 恭 忍
会報担当	関 水 俊 道
会報担当	時局対策委員長
監事	佐 藤 功 岳
監事	福 田 俊 光
監事	佐 伯 隆 義
理事	各 区 仏 会 長

区仏会長名簿

鶴見区	智廣寺 橋本正博
神奈川区	本覚寺 守長尚文
西区	萬徳寺 横山正彦
中区	大圓寺 佐藤功岳
南区	興禅寺 市川智彬
保土ヶ谷区	随流院 西村悦次
磯子区	真照寺 水谷栄寛
金沢区	正法院 友繁照純
港北区	妙蓮寺 山本玄征
都筑区	福聚院 齋藤清紀
緑区	萬藏寺 河本岡文
戸塚区	雲林寺 北見秀明
瀬谷区	長天寺 三田裕道
泉区	東泉寺 関水俊道
栄区	般若院 星野英秀

第三十六回総会開催

平成二十一年五月十一日(月)
午後一時より理事会、引き続き午後二時より、当市仏連の第三十五回総会が西有寺にて開かれた。

- 一、開会の言葉 玄野孝善師
- 一、会長挨拶 川上敬吾師
- 一、来賓挨拶 本間孝康師
- 一、議長選出 北見秀明師
- 一、議案審議
- (1)平成20年度事業報告 林田眞成師
- (2)時局対策委員会報告 佐藤功岳師
- (3)平成20年度決算報告 秋山智謙師
- (4)会計監査報告 佐伯隆義師
- (5)以上承認の件 北見議長
- (6)平成21年度事業計画案 林田眞成師
- (7)平成21年度予算案 秋山智謙師
- (8)以上承認の件 北見議長
提案の通り承認された
- (9)次期会長並びに役員改選 及び承認の件
選考委員代表 市川智彬師
- (10)新役員紹介(別掲)
- (11)仏跡参拝旅行の件
雨引観音参拝とSLの旅
事務局長 程木昭徳師
- (12)横浜市釈尊奉讃会の件について
- (13)その他 林田眞成師



石川県地震災害の件 質疑
一、閉会の言葉 山本信行師
の次第で進行された。
事業計画案の中で、昨年来の懸案となつてゐる釈尊奉讃会増強の実施と、市仏連創立六十周年、奉讃会三十周年記念事業の開催について提案された。
奉讃会の件では、新たに副会長に金沢区和田大雅師、栄区星野栄秀師、会計に神奈川区守長秀文師が就任され、各区に増員を呼びかけ、活性化を図る旨報告された。又、会費の納入方法についても、市仏連と奉讃会の合同役員会で検討していくこととなった。
周年行事については、来年度のはじめに実施し、奉讃会の活性化のきっかけとなるような催しにしたい旨提案され、今後、役員会にて検討していくこととなった。
次期会長並びに役員改選では、

時局対策委員会

昨年五月二十一日の市仏総会にて、各区仏会を代表して一名の時局対策委員を出向させるといふ決議により新たに出席された四人を加えて委員会が運営されております。通算66回目の委員会に当り平成二十年十月十七日の会議に於て、前述の総会に呈上した「葬儀問題に關して市仏会員との温度差解消のための方策」について、市仏会員寺院に時局対策委員会から直接ニュースレター(仮称)を配布するため、Eメール・FAX網の整備が決められました。
以来、今年十月までの月日を要し大部分の整備が出来ました。
また、去る平成二十一年九月十日には、本多副委員長と共に産経選考委員を代表して市川智彬師よりの報告があり、新会長に玄野孝善師を選考提案され、全会一致で承認された。副会長については、山本信行師は再任。玄野師の後任の副会長は、新会長に一任との選考委員会の見解が述べられ、新会長から市川智彬師が推挙され、全会一致で承認された。その他の担当理事も再任された。
議事終了後、各区仏会長に理事としての委嘱状が、代表の西区横山正彦師に手渡され、川上敬吾前会長には記念品が贈呈された。
会の終了後、例年のごとく、西有寺様客殿に於て、懇親を深めて散会した。



紹介される新役員

新聞による取材を受けました。「告別式」という呼称を使わないようレクチャーしていることへの興味からアプローチでした。産経新聞のテーマは「直葬」に関するものではありましたが、当方は現実を有体に述べ、その後三回に亘つて連載されましたので、今日、葬儀のあり方について社会的に大きなテーマとなりつつあり、六月十一日にはテレビ東京では、地上波、BSと二回に渡り「おぼろさんどっとこむ」の番組を放映しました。また、朝日新聞、週刊朝日も記事を組んでおりますますに仏教界の対応を問われる時代となったように考えております。市仏会員各位におかれましては、後世の法系から評価を受けるべき行動を示されんことを期待いたします。

釈尊奉讃会 総会開催

釈尊奉讃会の総会が、六月一日に神奈川区本覚寺にて行われ、活性化に向けた意見が交わされた。美濃口会長からは、一部の有志の会に留まらず、各区の幅広い組織となれることを願望された。

- 新役員**
- 相談役 港北区 程木 徳明師
 - 会長 泉区 美濃口久義氏
 - 副会長 金沢区 和田 大雅師
 - 港北区 程木 昭徳師
 - 鶴見区 植田 清司師
 - 星野 英秀師
 - 港北区 程木 昭徳師
 - 神奈川区 守長 秀文師
 - 事務局長 程木 昭徳師
 - 会計 神奈川区 守長 秀文師

収入		
前年度繰越金	1,008,528	(臨時会繰越) 431,654
委員会費	200,000	
利子	1,421	
計	1,209,949	
支出		
電話代	29,531	
FAX代	570	
会費第3回	15,000	
計	45,101	
次年度繰越金	1,164,848	円

以上ご報告いたします
平成21年3月31日
委員長 佐藤 功岳

横浜市仏教連合会 平成21年度歳入歳出予算書 (案)

歳入金 2,183,054円
歳出金 2,183,054円
差引額 0円
(自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 差引増減. Rows include 1.会費収入, 2.雑入金, 3.過年度収入金, 4.前年度繰越金, and 合計.

郵便振替 金 9,800円
郵便貯金普通 金 225,178円
現金 金 205,076円
繰り越し金額 金 440,054円

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 差引増減. Rows include 1.総務費, 2.経費, 3.事業費, 4.助成金負担金, 5.雑支出, 6.予備費, and 合計.

平成21年5月11日

上記のとおり歳入歳出の予算案を提出致します。

横浜市仏教連合会 会長 川上敬吾

会計 橋下賢明

会計 秋山智謙



横浜市仏教連合会 平成20年度収支決算報告

収入金 2,348,216円
支出金 1,908,162円
差引額 440,054円
(自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減. Rows include 1.会費収入, 2.雑入金, 3.過年度収入金, 4.前年度繰越金, and 合計.

総収入2,348,216円-総支出1,908,162円=繰越金440,054円

次年度繰越金 440,054円

特別預金 ゆうちょ銀行 定期定期 金5,673,000円

平成21年5月1日

上記のとおり収支決算書を提出致します。

横浜市仏教連合会 会長 川上敬吾

会計 橋下賢明

会計 秋山智謙

監査の結果相違ないことを認めます。

監査 福田俊光

監査 佐伯隆晴



第二十五回春の仏跡参拝旅行

雨引観音

横浜市仏教連合会の恒例の春の仏跡参拝旅行が、平成二十一年六月二十日(土)に実施された。朝は曇り日中、日が射し暑くなった。朝、七時に七十八名がバス二台に分乗して、横浜駅西口をスタートし、一路、茨城県の雨引観音・樂法寺に向う。交通事故があったらしくコースが変わった。蓮田で東北道に入り、羽生SAに九時十分頃、何処のサーブیسエリアも満杯だ。土、日、祝休日の遠出高速料金が一律、千円の影響のようだ。バスガイドさんの沿道案内・壬生のカンピョウ、夕顔、上田秋成作の「青ズキン」の話や宇都宮城の徳川秀忠の殺害を目撃んだ本多正純の湯殿からくり吊り天井の宇都宮騒動などを聞いているうちに北関東自動車道の桜川筑西ICを十



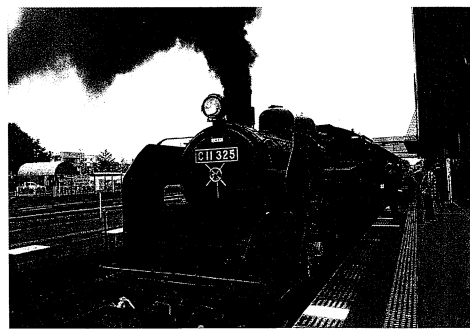
時八分におりる。十時半に茨城県桜川市本木一番地の雨引観音に到着。駐車場に一山の関係者の出迎えをいただき、本堂では川田興聖副住職様ら僧侶の方々が待ち受けて下さった。早速に会員一同で般若心経を唱和し、お詣りを行った。雨引山樂法寺(あまびきさんらくほうじ)は真言宗豊山派に属し、用明天皇二年、梁の国の人、法輪独守居士の開創である。本尊は延命観世音菩薩であり、推古、聖武、嵯峨の三天皇の勅願寺である。安産子育ての寺である。弘仁十二年(平安時代)に大早魃に当り嵯峨天皇は紺紙金泥の法華経を書写してご奉納なされ、利益あつて雨が降るや当山に命じて天彦山を雨引山と改称せられ、板東札所第二

十四番で本堂観音堂は江戸時代の建築で重要文化財、仁王門・多宝塔・鐘楼堂は江戸時代、薬医門は安土桃山時代の物である。本尊の延命観世音は、わが国でも見られない珍しい観世音で、前立の如意安全と商売繁昌を祈願し利益が得られてより、江戸から多くの参詣者が多くみられるようになったといわれ、今でも、東京から多くの参詣者が多いといわれている。実際、当日も境内には人が溢れていた。特に赤ちゃんを抱いての子育て祈願の法要がひっきりなしにあがっていた。本尊上供(法楽)が終るとすぐに外に出て、多宝塔を背景に記念写真を撮った。本坊書院に案内され、中へ上がる。二月堂机に八十名分のお茶とお菓子、お土産品まで仕度されたご接待に一同恐縮と感激をした。当山の先代貫主の川田聖見大僧正現下は昭和五十一年から昭和五十五年まで真言宗豊山派の第二十二世管長、総本山長谷寺の第七十六世能化であらせられ現貫主の川田聖定大僧正現下も第二十九世管長、第八十三世能化に就任されていた。役員一同で先ず川田聖定現下にお目通りを願ひ、ご挨拶を申し上げた。ご貫主様は書院広間で待つ八十名

堀端二十四巻
 法華経
 雨
 五三二六号



横浜市仏教連合会 雨引山樂法寺(雨引観音)参拝記念 平成 21 年 6 月 20 日



に御法話をしてくださった。茨城弁でおつとりとした、実にきさくな話しぶりに感動した。1412年前に開創され、弘仁期の伝教大師最澄和尚、弘法大師空海上人等にも尊崇され、尊厳さは随一の観音のお寺である。私共が行事をするに必ず雨が降る。私が長谷寺の管長・能化職を辞する退山式が六月に予定されていたので、前もって俳句を作った。「かそけきや雨ふりやまず 誓我の花」と。しかし、当日は雨が降らなかつた。ままよと思ひ、その俳句を挨拶で披露した。女性も雨の日は似合う、美しくみえる。雨の日に寺に行けばご利益がある。松尾芭蕉の句に「寒菊やこぬかのかかる 白の端」とある。米つきは小僧の修行の一つ。粉糠とこぬか雨とをかけている。何の修行もきびしい。涙の一つでもこぼすこともある。人前では見せない。含蓄のあるお話しと貫主様はじめ一山の方々の本心に心のこもった

おもてなしに御様の 大慈大悲をいっばいに感じ、ありがたかった。御札の言葉を各々が一山の方々のべて外に出た。眺望が良い。境内のベンチに座り、くつろぐ。アジサイの花が見事に咲き、沢山植樹されていて、美しかった。あちこちで感嘆の声があがっていた。小麦が麦秋の田んぼもあれば、水田に稲苗がそろいはじめている赤茶と緑の田園風景を楽しみながら、益子焼のつかもと本店で昼食を取る。十二時五十分～一時四十五分まで。二時半頃、酒蔵見学は案内人の口上が上手だった。二時四十分は益子駅に行き、午後三時

市仏連 役員会中間報告

総会の決議に則り、市仏連創立六十周年、並びに釈尊奉讃会創立三十周年記念事業開催と、釈尊奉讃会増強活性化についての役員会が、市仏連と釈尊奉讃会との合同で数多く開催されて参りました。それぞれに活発な意見が交わされ、方向性が固まりつつあります。この場にて、提案されている意見をご紹介します。

◆記念行事について

- 一、創立実行委員会を設立する。
- 二、各区仏会長が実行委員となり、行事が終わるまでの任期とする。
- 三、開催日を平成22年6月5日(土)とする。
- 四、会場は関内ホールとしたい。公共性を持たせるため、福祉協議会の協力を依頼したい。

五分発の昔懐かしい蒸気機関車に乗車、真岡駅三時二十九分着のSLの旅を楽しんだ。窓を開けて顔を出す火の粉が飛んできて、あわてて顔をひつ込めた。車内には運転手さんの制帽がおいでであり、それをかぶってはしゃいで写真を撮りあつたりしていた。一人の支障者もなく、無事に午後六時四十分横浜駅西口に帰着した。思い出に残る旅となった。参加のご寺院は長昌寺、興禪寺、東照寺、見光寺、東泉寺、西福寺、松蔭寺、長王寺、妙光寺、本覚寺、万徳寺の方々であった。ありがとうございました。

五、必要経費を立てて、予算を立案し、募金を募る。

六、法要の経典は般若心経。詠歌を金剛流・梅花流・吉水流に依頼したらどうか。

七、一般の人に判り易いテーマを立てる。

(例) 共存・共栄・愛心・愛語

八、臨時総会を開催し決定する。

九、その他

◆釈尊奉讃会の運営について

- 一、増強を図るため、各寺院ごとに関員を確保する。
- 二、菩提寺で会員を管理し、会費は菩提寺を通して納付する。
- 三、会員の会費(二千円)の他に寺院会員に賛助金(一口五千円)の資金を募つたらどうか。などの意見が出ておりますことをご報告します。



鶴見区仏教会は六月五日、泉慰霊堂で戦没者追悼法要を勤めさせていただきました。当日は小雨模様の中にかかわらず、大勢の遺族の方々が参列されました。法話の中で、平和の尊き、戦争の悲惨さ、現代の家族等について、述べることができました。

七月二九日、区仏教婦人会主催の灯笼供養会が鶴見川河畔で行われ、その法要を後援いたしました。以前には灯笼を川に浮かべ、その幻想的な灯りに手を合わせていましたが、現在は環境の面を考え、川べりの供養台に並べて、各家の先祖供養を行っております。



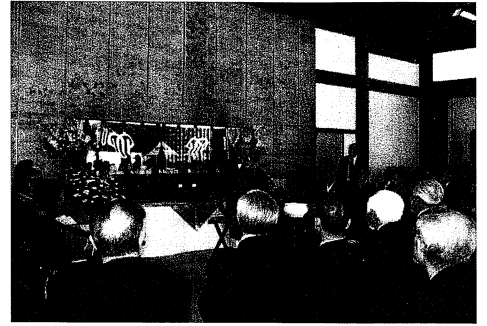
●港北区

私共、横浜市港北区仏教会は、去る六月二十五日、恒例の港北区仏教会研修会を開催致しました。近年、マスコミにおいても、墓地の移設や、無縁化の問題。また、墓地を巡つた寺院と檀家とのトラブルなどが取り上げられ、現在、少子高齢化や核家族化など時代の変遷にともない寺院墓地のあり方

も曲がり角にあると考え、今年、横浜市健康福祉局生活衛生課長 桃井宏之氏をお招きして、墓地、埋葬等に関する法律に基づき、納骨堂の手續等についてと無縁墳墓の改葬手續等についてという二つのテーマについてご講義頂きました。当日は、好天に恵まれる中、数多くの会員寺院の皆様にご参加頂き、墓地埋葬法の歴史や時代に沿つた変遷の説明に始まり、墓地や納骨堂の種類や、許認可についての法的な説明、さらには、無縁墳墓の改葬手續きや注意点など大変実用的な内容の講義を賜り、その後の質疑応答でも、質問や要望、活発な意見交換などがなされました。

今後も、このような社会情勢の変化に沿つた有意義な研修会を予定していきたいと考えております。

- 保土ヶ谷・旭区
- 保土ヶ谷・旭区仏教会の今年度の行事計画は左記の通りです。
- 四月六日 「県戦没者慰霊祭月例祭」 出仕 於泉靈雲堂
 - 四月七日 「花まつり」 法要 於東光寺
 - 四月十九日 総会
 - 五月二十七日 「春の仏跡参拝」 伊豆・東福寺「堂ヶ島」
 - 五月十一日 市仏總會
 - 六月二十二日 「白山重忠公慰霊祭」
 - 八月 役員会
 - 十一月 「秋の仏跡参拝」
 - 十二月 「成道会」 法要



十二月 「歳未助け合い托鉢」
於保土ヶ谷駅・

天王町駅・二俣川駅

一月 新年会
二月 「市仏涅槃会」
三月 会費徴収

以上が当仏教会の年間行事計画です。

●栄区

阪神淡路大震災が発生した一月十七日に合わせて、毎年JR本郷台駅前にて托鉢を行っている。一年中で最も寒い時期なので、午後三時から五時までの二時間は、時の経つのが遅く感じられる。しかし、今年は土曜日にあつたため、勤め帰りで帰宅を急ぐ人は少なく、余裕を持った家族連れや買い物客が多い駅前広場だった。そのためか、例年よりも1.5倍のご寄付を頂いた。お母さんにご寄付を引かれた、おみじのような手で浄財箱に入れてくれる子供も多く、

寒さを忘れる感覚を覚えた。ともすると時間の流れに流されて忘れられそうなきしみも、皆さんの心呼びさますためにも、我々が頑張つて続けねばとの思いを新たにしたい一日であった。皆さんより喜ばされた浄財は、当会の総意により震災地で活躍する「レインボーハウス」へ毎年送金して、震災遺児への後援の一助にしている。継続は力なりと言いますが、出来るだけ実践して行きたいと念じている。

●金沢区

金沢区仏教会では、例年、所属三十の寺院・檀信徒により以下の行事を行っている。

一、四月釈尊降誕会(花まつり)六十人以上の伝統があり、毎年五十名以上のお稚児様をはじめ、檀信徒など数百名の参加者によって行列、法要を行う。

二、四月 古寺参拝研修

近隣古刹(二十一年度は西新井大師総持寺と小石川伝通院)へ寺院住職、寺院による研修・参拝を行う。

三、八月 金沢仏教文化講演会

金沢公会堂において、布教活動の一環として、講演会を行う。

四、十月 交通安全大般若転読祈願法要

交通安全事故の物故者追悼と交通安全祈願の法要を物故者ご遺族、交通安全協議会関係者等を招き行う。

五、その他

寺務研修会(二十年度は県立金沢文庫にお、学芸員によ

る「金沢の旧跡を寺社の歴史」について寺院関係者及び檀信徒参加の研修会、や機関紙「慈光」年二回発行、地震被災者などへの募金活動及び寄付などを行っている。

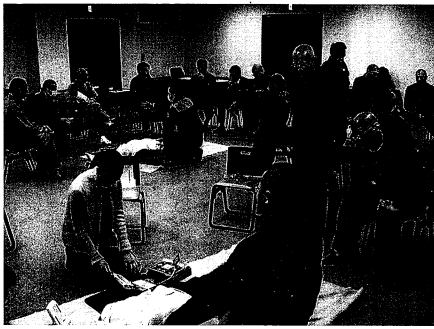
●緑・青葉区

当区仏(会長・萬藏寺・河本岡文)では、三月二十五日、緑区小山町・観護寺様を会場に、教師・寺院対象の普通救命講習を行いました。

緑消防署から講師を派遣して頂き、心臓マツサージ・AEDの使用を中心とした内容で三時間程要します。

人体模型を使った研修ではありますが、いざとなると教わつたばかりの手順もすんなりと再現できません。今月初の試みでしたが、今後も定期的に継続する必要性を感じました。

尚、会員寺院皆様の関心も高く、普段より多くの参加がありました。



― 泉慰霊堂出仕当番表 ―

- 平成22年4月 泉区仏
- 平成22年6月 瀬谷区仏
- 平成22年10月 都筑区仏
- 平成22年11月 緑・青葉区仏
- 平成23年4月 南・港南区仏
- 平成23年6月 神奈川区仏
- 平成23年10月 西区仏
- 平成23年11月 磯子区仏
- 平成22年第35回 鶴見区仏教会
- 平成23年第36回 西区仏教会
- 平成24年第37回 磯子区仏教会
- 平成25年第38回 神奈川区仏教会
- 平成26年第39回 緑・青葉区仏
- 平成27年第40回 保土ヶ谷・旭区

― 総会議長担当区 ―

- 平成22年第37回 泉区・栄区
- 平成23年第38回 鶴見区・神奈川区
- 平成24年第39回 西区・磯子区
- 平成25年第40回 港北区・金沢区
- 平成26年第41回 中区・保土ヶ谷区

事務日誌

- 21.4.16 総会案内発送
- 21.4.24 役員会(四川飯店)
- 21.5.11 第36回総会・西有寺
- 21.5.26 名誉会長委嘱・総持寺
- 21.5.28 役員会(四川飯店)
- 21.6.1 奉讀会総会・本覚寺
- 21.6.8 役員会(本覚寺)
- 21.6.20 春の仏跡・雨引観音
- 21.6.22 弔電 自性院(金沢区)
- 21.8.30 役員会(四川飯店)
- 21.9.4 秋の仏跡案内発送
- 21.9.4 会報原稿依頼発送
- 21.9.4 慰霊堂出仕案内
- 21.9.28 会報編集・東泉寺
- 21.10.2 会報編集・東泉寺

編集後記

◎川上敬吾前会長、二期四年、当市仏連を引つぱつて、尽力されたこと、心より感謝を申し上げます。おつかれさまでした。ありがとうございます。新会長に就任された玄野孝善師はプロフィールにあるように、十五・七年間専務理事をなさり、副会長も歴任され、志村慎吾師、柳下降侃師、森山正城師、滝川覚道師、斎藤隆法師、横山敬明師、築本哲信師、川上敬吾師等の歴代会長を支えること実に長きにわたります。総会後、何回も役員会を招集し、市仏連の六十周年記念大会の実施や釈尊奉讀会の運営の件について協議を重ねておられる。役員一同も盛り立てて行こうと誓っておる。会員各位のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

◎今夏、今秋も自然災害が連続発生した。九州、広島、山口、兵庫で大雨洪水、静岡駿河湾沖での強度な地震、台風十八号の大暴風雨等。海外でもサモワ諸島、インドネシアのスマトラ沖マグニチュード8.8の極大地震が起き、津波も発生した。死者多数と報道された。昔の人は人間が悪政をすると天が怒って災害をもたらすとして、人間の言動を慎み深く、為政者も善政を行おうとした。今は自然や見えないうものに畏敬の念を持つ社会的教育が皆無なのが、大問題である。神仏一体の日本仏教に期待する向きもあるようだ。